（様式－3）

再発防止対策報告書

東北支部

発生日時	2023 年 10 月 12 日（木曜日） 9 時 30 分頃							天候	晴れ	
災害の程度	死亡 名		負傷 1 名		職種 伐採工		年令 ６１才		経験年数 １１年	
工事の種類	調査測量	伐採	運搬	仮設	基礎	組立	足場	架線	撤去	その他
災害の種類	墜落・転落	転倒	物の飛来・落下	崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	感電	その他		
原因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失	その他			

災害の状況	［件　名］ 仮設道路造成に伴う伐採作業中，伐倒木がずり落ち右手甲に激突し受傷した ［作業内容］ 伐採作業 ［発生状況］ 伐採作業中，伐倒木が他の切株に当たり，右方向にずれた反動で退避していた被災者の方向にずり落ち，右手甲に激突し受傷した。 ［被災程度］ 右手デグロービング損傷，中指MP関節脱臼，環指PIP関節脱臼 ［服装・装備］ 作業服上下，チャップス，皮手袋，長靴（スパイク付き），安全帽，フェイスガード
原因及び対策	［発生原因］ ・急傾斜地のため伐倒方向に向かって，適切な受け口と追い口を作っていなかったことに加え，伐倒木が振れても当たらない退避距離を確保していなくて激突した。 ・作業班長が作業状況を指導・監督できる場所にいなかった。 ［再発防止対策］ ・急傾斜地でチェンソーにて伐倒を行うときは，２人以上で伐倒方向を決め，受け口の入れ方や追い口の高さについても２人以上で確認をする。 ・チェンソーで追い口を入れてロープで引き倒す作業の時，チェンソー操作者は，オペレーターと事前に合図方法を確認する。 ・急傾斜地にてチェンソーで追い口を入れてロープで引き倒す作業の時，チェンソー操作者は，十分な退避距離を他の作業員等と２人以上で確認する。 ・チェンソーで追い口を入れてロープで引き倒す作業の時，オペレーターは，チェンソー操作者から合図があるまで操作しない。 ・作業班長は，作業員が離れ過ぎない配置をして管理できる範囲の作業内容を指示する。 ・作業班長は常に作業員が行っている作業内容を把握できる場所にいることとし，予め作業が離れることが想定された場合は２班体制とし，それぞれ班長を配置する。

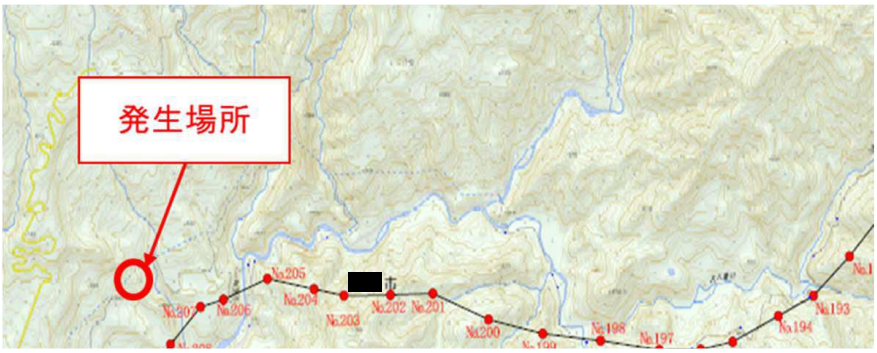
（注）1.「人身災害報告要領」に基づいて記載するものとし、「工事の種類」「災害の種類」「原因」については該当項目に〇印を付ける。

2. 災害状況の説明と共になるべく図面を添付すること（様式－2）。
特に感電の場合は支持物、電線の離隔距離その他寸法を記入する。

（様式－2）

災　害　概　要　図

発生状況



(i)チェーンソー作業時

(ii)被災時